

## 事業事前評価表

### 国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

#### 1. 基本情報

国名：ガーナ共和国（ガーナ）

案件名：ノーザン州における保健医療体制改善計画（The Project for the Improvement of Health Care System in the Northern Region）

G/A 締結日：2022 年 6 月 8 日

#### 2. 事業の背景と必要性

（1）当該国における保健セクター／北部地域の開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ガーナ共和国（以下、「ガーナ」）では、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（Universal Health Coverage。以下、「UHC」）の達成に向けて、保健医療サービスへのアクセス改善に取り組んだ結果、熟練出産介助者による分娩、産前産後ケア受診率、予防接種率の向上など、保健医療サービスへのアクセスが向上した。その結果、母親と子どもの死亡率が 1990 年から半減するなど健康状況に改善がみられたものの、5 歳児未満死亡率は 52（出生 1000 対）、妊産婦死亡率は 310（出生 10 万対）（Ghana Maternal Health Survey、2017）に留まっており、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals。以下、「SDGs」）で定められた妊産婦死亡率の目標値（出生 10 万対 70）の達成に向けて依然として厳しい状況にあり、医療施設でのサービスの質改善が急務となっている。ガーナは、国家中期開発計画「An Agenda for Jobs 2018-2021」において保健を重点分野の一つと位置付け、「国家保健セクター中期開発計画 2018-2021」を策定し、UHC の達成を見据えた保健サービスアクセス是正及び質改善を政策目標としている。

他方、当国の低中所得国入りに伴うドナーからの支援額減少及びマクロ経済の悪化等の影響を受け政府の財政は逼迫し、医療施設の整備や質の高い保健医療サービスの提供等のための資金不足が生じ、地域住民への保健医療サービスの更なる質改善が喫緊の課題となっている。

特に、ノーザン州医療体制改善計画（以下、「本事業」）の対象地域であるノーザン州は、妊産婦死亡率 278（出生 10 万対）、5 歳児未満死亡率 77（出生 1000 対）（Ghana Maternal Health Survey、2017）となっており、施設内妊産婦死亡率については全国で最も高く（出生 10 万対 207、Health Sector Holistic Assessment 2018）なっている。州病院として位置付けられているタマレ中央病院は、病棟の一部が築後 90 年以上経過し、老朽化により求められる母子保健医療サービスの提供が難しいほか、衛生面及び院内感染対策が不足している。

また資金不足から同病院および州内郡病院の医療機材・設備の不足（タマレ中央病院全体で超音波診断装置 1 台、各病棟に酸素ボンベ 1 台等）も生じており、各病院が求められるレベルに合った母子保健医療サービスを十分に提供できていない。タマレ中心部から距離が遠い州内郡病院ではリファラルに時間を要するため、各病院内で対応が迫られる場合もあるものの、医療機材の不足で適切な対応ができないケースもある。このようにタマレ中央病院と州内郡病院による適切な母子保健医療サービスが提供されないことで、患者は上位病院であるタマレ教育病院に集中している。結果、同州内における適切な医療体制を構築できず、住民に適切な保健医療サービスを提供できていないことが問題となっている。そのため、本事業はノーザン州において、タマレ中央病院の施設の建て替え・拡張と医療機材の整備及び上位病院への緊急搬送が困難な州内郡病院に対して医療機材を整備することにより、母子保健医療サービスの質及びリファラルシステムの改善を図り、もって同地域の母子の健康状態の改善に寄与するものであり、ガーナ「国家保健セクター中期開発計画 2018-2021」において重要な事業として位置付けられる。

（２）保健セクターに対する我が国及び JICA の協力量針等と本事業の位置付け  
対ガーナ共和国 JICA 国別分析ペーパー（2019 年 4 月）において、保健分野、特に妊産婦及び 5 歳未満児の死亡率低下に資する「母子保健」は協力の柱であり、地域保健・感染症対策を重点課題と分析している。また、対ガーナ共和国国別開発協力量針（2019 年 9 月）でも「保健」が重点分野として掲げられ、本事業はこれら分析、方針に合致する。我が国はガーナ北部地域において、技術協力「アッパーウエスト州地域保健機能を活用した妊産婦・新生児保健サービスプロジェクト」（2011 年～2016 年）及び無償資金協力「アッパーウエスト州地域保健施設整備計画」（2012 年）を実施し、地域保健（Community-based Health Planning and Services。以下、「CHPS」）強化に焦点を当て、保健医療サービスへのアクセス改善に取り組んできた。また、本事業は、JICA 世界保健医療イニシアティブのうち「診断・治療体制の強化」に位置付けられ、医療提供システムの強化に貢献する事業であるとともに SDGs ゴール 3「健康な生活の確保、万人の福祉の促進」の達成に貢献するものである。

### （３）他の援助機関の対応

多くの援助機関がガーナ「国家保健セクター中期開発計画 2018-2021」に基づき、CHPS、非感染症疾患、母子保健、栄養への支援を行っており、定期的で開催されているドナー会合やセクターワーキンググループを通じて、情報交換や協調が行われている。CHPS においては、世界銀行がノーザン州を含む全国で、地域母子保健・栄養サービス改善を目的として「Maternal and Child Health and Nutrition Improvement Project (2015-2020)」を実施している。また

プライマリーヘルスケアの質向上を目的として「Health for Human Capital Investment Program (2021-2025)」を形成中である。また、北部地域において、カナダキリスト教児童基金がノーザン州内で保健センターから郡病院まで、多数の保健医療施設やコミュニティへ機材供与やバイク、PCなどの物品供与を行っている。タマレ中央病院に対しては、2013年に日本政府拠出金によりユニセフによる新生児保温器等の医療機材供与実績がある。また、タマレ中央病院では、現在赤十字の支援で眼科外来を建設中、2021年中に完成予定である。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業目的

本事業はノーザン州において、タマレ中央病院の施設の建て替え・拡張と医療機材の整備及び上位病院への緊急搬送が困難な同州内郡病院に対して医療機材を整備することにより、母子保健医療サービスの質及びリファラルシステムの改善を図り、もって同地域の母子の健康状態の改善に寄与するもの。

#### (2) プロジェクトサイト／対象地域名

ノーザン州タマレ市

#### (3) 本事業の受益者（ターゲットグループ）

直接受益者（約 10 万人）：タマレ中央病院外来患者数

最終受益者（約 38 万人）：タマレ市の人口

#### (4) 事業内容

##### 1) 土木工事、調達機器等の内容

##### ・タマレ中央病院

【施設】外来部門（一般外来）、中央診療部門（臨床検査室、手術室、中央材料室）、産科部門（産前産後ケア診療室、陣痛室、産科病棟、新生児集中治療室）、小児病棟、総延床面積 約 5,800 m<sup>2</sup>

【機材】外来部門、中央診療部門、産科部門、小児病棟、サポート部門関連機材（麻酔器 2 点、帝王切開器具セット 4 点、超音波診断装置 2 点、開放型保育器 5 点、小手術器具セット 3 点、无影灯 2 点、油圧式手術台 2 点等）

##### ・3 郡病院（サベルグ市民病院、ビンビラ病院、パンダイ病院）

【機材】分娩部門、手術室、中央滅菌材料室、血液銀行関連機材（麻酔器 1 点、帝王切開器具セット 6 点、油圧式手術台 3 点、ポータブル超音波診断装置 2 点等）

##### 2) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネント

#### (5) 総事業費

2,487 百万円（概算協力額（日本側）：2,455 百万円、ガーナ共和国側：32 百万円）

(6) 事業実施期間

2022年3月～2024年2月を予定（計24か月）。

(7) 事業実施体制

- 1) 事業実施機関：保健省（Ministry of Health）、ガーナ保健サービス（Ghana Health Service）
- 2) 運営・維持管理機関：ガーナ保健サービス及びタマレ中央病院等の対象病院

(8) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動

本事業の対象州は技術協力「北部3州におけるライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービス強化プロジェクト」（2017年～2022年）に含まれる。同案件を通じCHPSを通じた予防・健康増進を図るとともに、健康リスクがある場合には早期の保健医療施設受診を推奨しており、本事業で対象とする病院はCHPSレベルからの紹介先施設、また、技術協力「母子手帳を通じた母子継続ケア改善プロジェクト」（2017年～2022年）を通じ推進する母子継続ケアを提供する施設と整理されている。さらにノーザン州は技術協力「5S-KAIZEN-TQMに焦点を当てた母子保健医療サービスの質の改善プロジェクト」の対象予定地域でもあるため、本事業との相乗効果の発現を図る。また、無償資金協力「貧困削減戦略計画」（2017年）においては、北部3州におけるCHPSのモニタリング能力向上、CHPS整備のための財政支援を実施しており、同州内全レベルの施設整備に貢献し、サービスの質改善に繋がると考えられ、本事業との相乗効果が見込まれる。

2) 他援助機関等の援助活動

ノーザン州での各ドナーの支援内容として、母子保健に関わるもの、コミュニティレベルでの保健活動に関わるものが多く見られる。カナダキリスト教児童基金や赤十字等との密な情報交換・協議を通じ、他機関の支援と相まってノーザン州全体の母子保健医療サービスの質の向上とアクセス改善が図られることが期待される。

(9) 環境社会配慮・横断的事項・ジェンダー分類

1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：C
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 横断的事項

本事業の保健医療サービスの質の向上とリファラルシステムの改善は、保

健システム全体の強化に繋がるため、保健医療サービスの受益者である対象地域の住民の健康状態の改善に寄与することが見込まれる。

3) ジェンダー分類：

【ジェンダー案件】 ■GI (P) (女性を主な裨益対象とする案件)

＜活動内容／分類理由＞本事業は、分娩室を含む施設の拡充を通じた妊産婦死亡率の減少等の母子の健康状態の改善を目的としているため。

(10) その他特記事項

メンテナンスの重要性が高い医療機材（血球計数計測装置、血液凝固計、電解質分析装置、免疫分析装置、半自動生化学分析装置等）に最大計3年間の保守契約を付帯する。

#### 4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム（運用・効果指標）

指標名	基準値 (2017-2019年 実績値平均)	目標値 (2027年) 【事業完成3年後】
タマレ中央病院外来患者数（人/年）	93,479	109,800
対象施設における合計分娩数（人/年）	11,639	15,000
対象施設における合計帝王切開数（件/年）	1,205	1,500
タマレ中央病院における超音波診断装置 使用回数（件/年）	6,584	8,150

(2) 定性的効果

- ① 院内環境、機能の充実により業務効率が向上し、安全性が改善する。
- ② 施設・機材の整備・充実により、スタッフの働きやすさ、モチベーションと満足度の向上に繋がる。
- ③ 院内環境、機能の充実により患者の満足度が高まる。
- ④ 院内環境の改善により、現職及び実習生の院内研修の機会が増加する。
- ⑤ 各対象病院がガーナの基準で示されているレベルに合った重症度の患者を適切に受け入れる。

#### 5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件

- ・ 同国の医療システムの見直しが生じた際にタマレ中央病院の州病院としての位置付けに変更がないこと。

(2) 外部条件

- ・ COVID-19 の感染拡大が収束に向かい、予定通りに実施設計や工事が進められる。
- ・ 本事業の対象地域の治安情勢が急激に悪化しない。
- ・ 物流の乱れや急激な物流費用の上昇が発生しない。

## 6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

過去のケニア共和国向け無償資金協力「西部地域県病院整備計画」（評価年度 2012 年）の事後評価等では、病院施設・医療機材が整備された結果、医療サービスの質の向上、患者満足度向上により利用患者数が増加した一方で医療従事者一人当たりの負担増加が指摘された。医療施設整備を行う場合、医療従事者の配置についても検討し、関係者と対応について事業開始前に合意を得る必要があるとの教訓を得ている。

本事業では、医療従事者の適正な人材配置に向けて取り組むことを保健省及びガーナ保健サービスと合意済みであるが、引き続き、無償資金協力実施の際にも先方の対応状況を確認の上、必要な場合には、対応を促していく。

## 7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、保健医療サービスへの質改善を通じて、妊産婦死亡率、新生児死亡率等の保健指標の改善と SDGs ゴール 3「健康な生活の確保、万人の福祉の促進」の達成に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

## 8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

事業完成 3 年後      事後評価

以 上